

地理院地図 Globe 操作マニュアル

平成 28 年 4 月 5 日 更新

目次

1. 概要	1-1
1.1 地理院地図 GLOBE の概要	1-1
2. 基本操作	2-2
2.1 操作概要	2-2
2.2 地理院地図 GLOBE へのアクセス方法	2-2
2.3 基本画面の説明	2-3
2.4 地図を操作する	2-4
2.4.1 地図のスクロール	2-4
2.4.2 地図のズームイン・ズームアウト	2-4
2.5 表示地図を変更する	2-5
2.6 三次元で地図を立体表示する	2-8
2.7 文字列検索を行い、該当箇所に移動する	2-10
2.8 立体地図を回転し、全方位で地形を確認する	2-12
2.9 指定位置の情報を表示する	2-16
2.10 GeoJSON・KML(KMP)を読み込む	2-19

1. 概要

1.1 地理院地図 Globe の概要

地理院地図 Globe は、地理院標高タイルを活用して、国土地理院が提供する様々な地図を、特別なプラグイン等を導入せずに、ウェブブラウザ上で三次元表示することが可能です。

地理院地図 Globe の概要イメージを図 1-1 に示します。

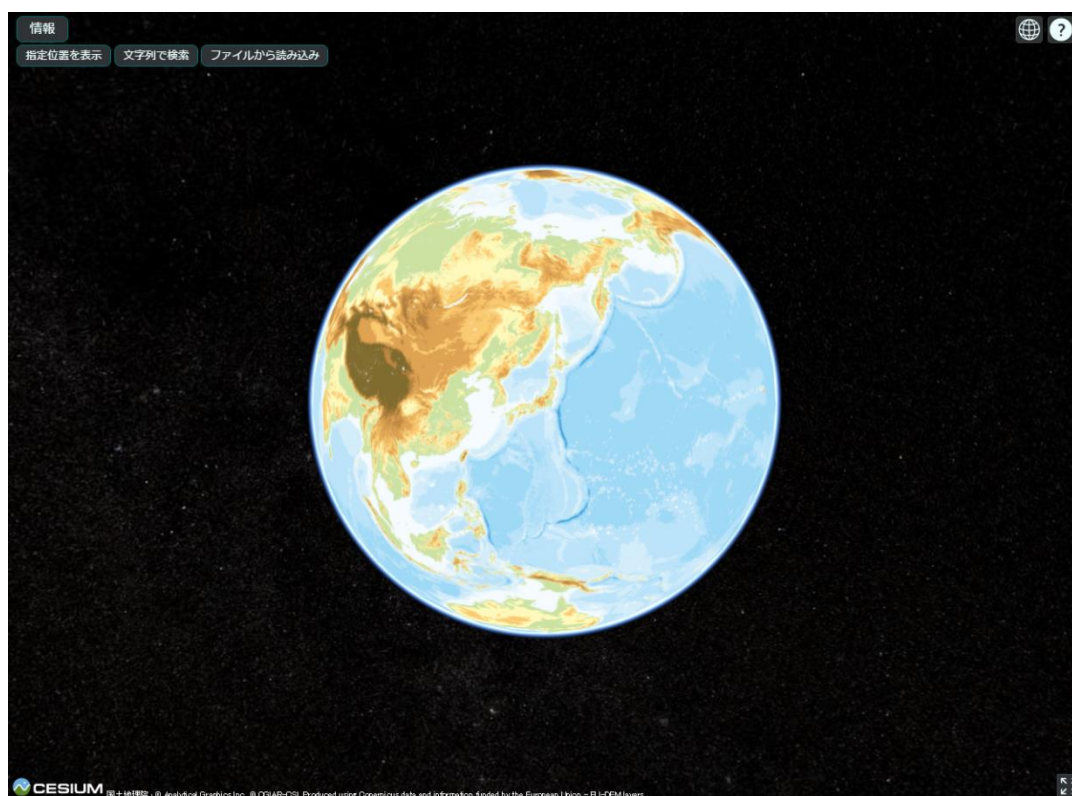


図 1-1 地理院地図 Globe イメージ

2. 基本操作

2.1 操作概要

地理院地図 Globe について、次の操作が可能です。以下の章で順次、詳細な手順を説明します。

カテゴリー	操作
基本操作	地図上でズームイン、ズームアウト等の基本的な操作を行います。
表示地図の変更	地理院地図 Globe で表示される地図を変更します。
三次元の立体表示	地図を三次元で立体表示させます。
文字列検索による移動	文字列で検索し、指定した場所へ移動します。
指定位置の情報表示	地図上で指定した位置情報を用いて、地理院地図、地理院地図 3D、地理空間情報ライブラリーサイトと連携します。
アップロード	GeoJSON または KML(KMP) をアップロードし、地図と重ね合わせて表示します。

2.2 地理院地図 Globe へのアクセス方法

地理院地図 Globe は、ウェブブラウザを用いて利用します。地理院地図 Globe にアクセスするための URL は、以下のとおりです。

http://maps.gsi.go.jp/globe/index_globe.html

(推奨環境)

■ Windows

OS : Windows 7 以降、ウェブブラウザ : Google Chrome, Mozilla Firefox, Microsoft Internet Explorer 11(IE11)

■ Macintosh

OS : Mac OS X、ウェブブラウザ : Safari

2.3 基本画面の説明

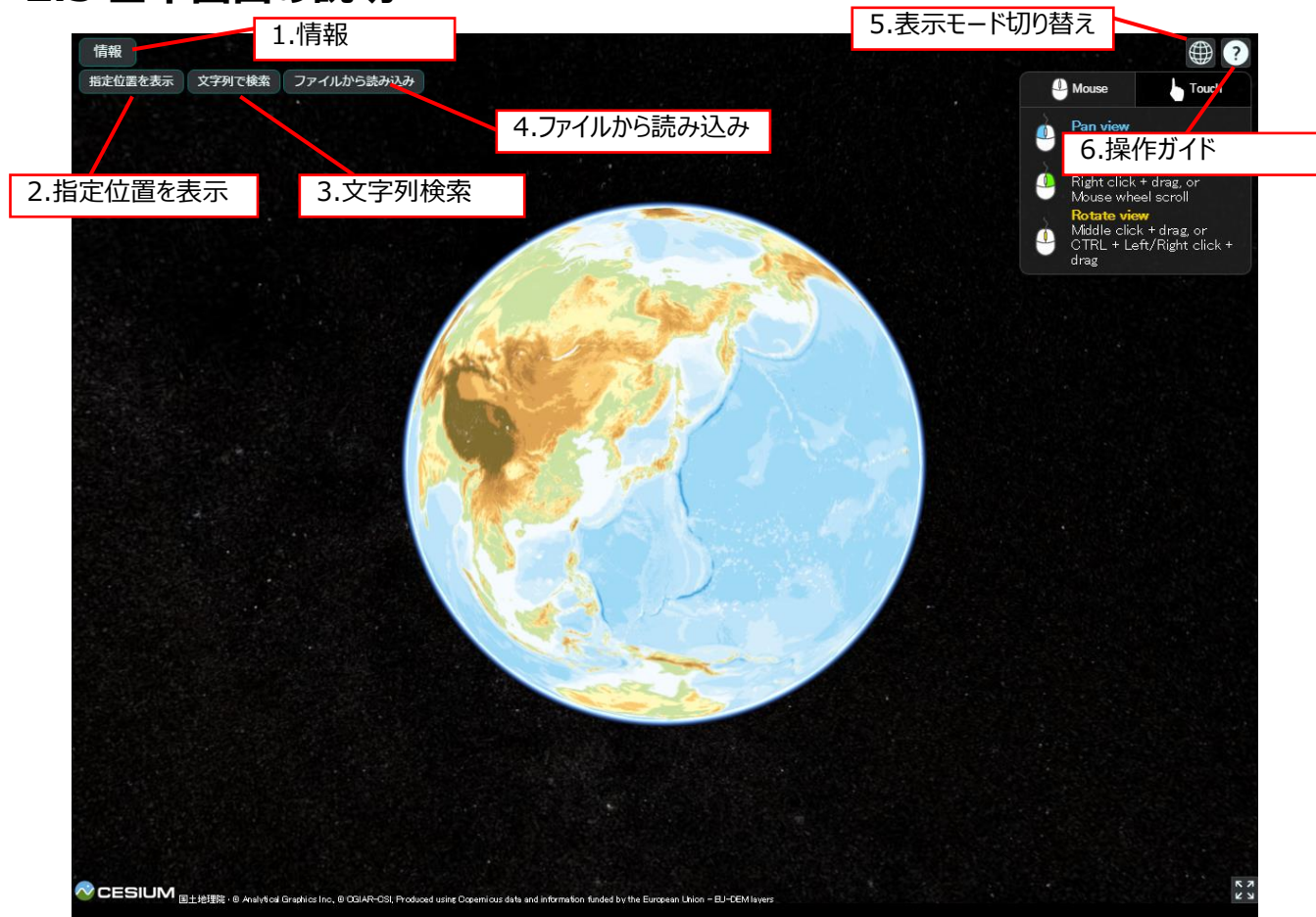


図 2-1 地理院地図 Globe 基本画面

NO	名称	説明
1	情報	クリックすると「表示中の情報」「表示できる情報」の2つのメニューが表示されます。 各メニューをクリックするとダイアログが表示されます。 「表示できる情報」ダイアログから表示したい地図を選択します。
2	指定位置を表示	クリック/タップで指定した位置の緯度・経度を表示します。また、指定位置を各サイト(地理院地図サイト、地理院地図 3D サイト、地理空間情報ライブラリー)で表示するリンクを示します。
3	文字列検索	入力した文字列を用いて、住所、駅、公共施設、地名の検索を行います。検索結果から該当箇所に移動することができます。
4	ファイルから読み込み	GeoJSONやKML(KMP)をファイルから読み込み、背景地図に重ねて表示します。
5	表示モード切り替え	2D(二次元の平面表示)、3D(三次元の立体表示)、2.5D(三次元を一方向から表示)を切り替えて表示します。
6	操作ガイド	操作ガイドの表示/非表示を切り替えます。

2.4 地図を操作する

2.4.1 地図のスクロール

地図のスクロールは、地図画面上で、マウスをクリックしたまま地図をドラッグすることで行えます。

2.4.2 地図のズームイン・ズームアウト

地図画面上で、マウスホイールを操作することにより、地図のズームイン・ズームアウトが可能です。ズームレベルが大きいほどズームインした状態（大縮尺）となります。

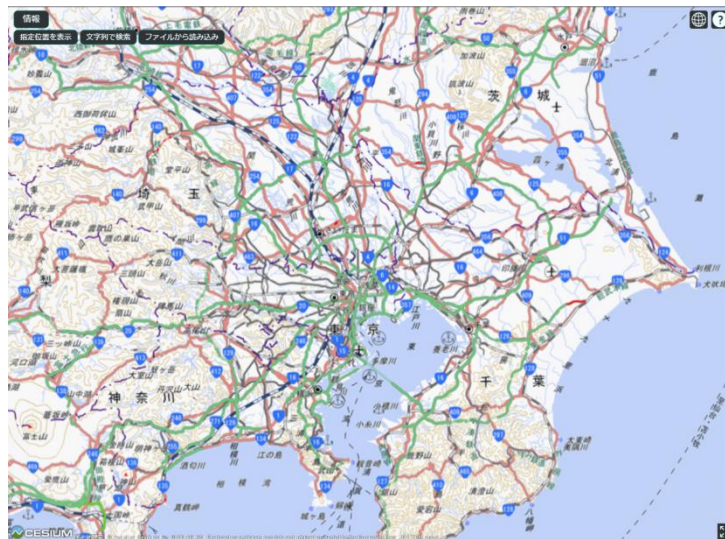


図 2-2 ズームイン前



図 2-3 ズームイン後

2.5 表示地図を変更する

《手順1》画面左上「情報」のボタンをクリックし、「表示できる情報」をクリックします。プルダウンメニューが表示されますので、表示したい地図をクリックします。

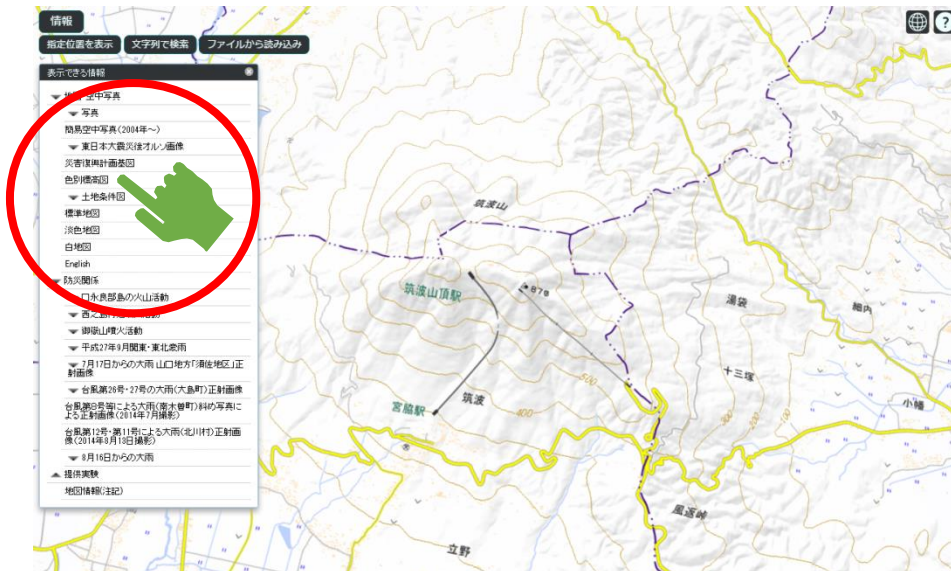


図 2-4 表示地図選択

《手順2》選択された地図が表示されます。

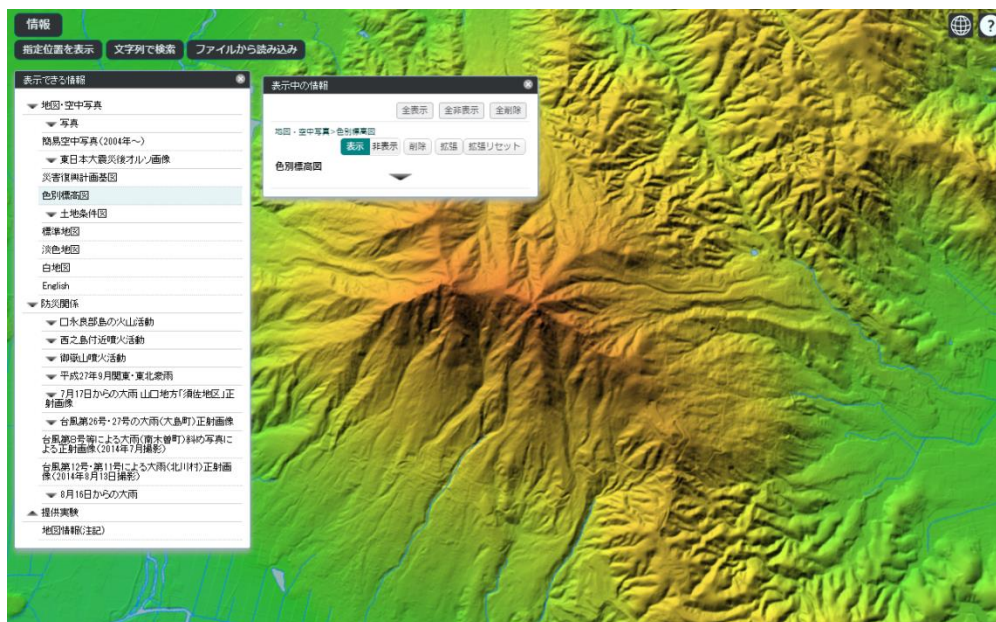


図 2-5 変更後の地図(色別標高図)

※ 選択した地図にて、表示しているズームレベルの地図が用意されていない場合は、表示されません。

《手順3》「表示中の情報」ダイアログが開きます。



- ①非表示の地図を全て表示します。
- ②表示中の地図を全て非表示にします。
- ③地図の表示/非表示を切り替えます。
- ④地図を削除します。



三角ボタンをクリックすると地図の透過率を調整する
スライダーが表示されます。
スライダーのつまみを移動させて地図の透過率を変更しま
す。



拡張ボタンをクリックすると地図の色合いを調整するスライダーが表示されます。

各スライダーのつまみを移動させて地図の色合いを変更します。

拡張リセットボタンをクリックすると全てのスライダーの値が規定値にリセットされます。

2.6 三次元で地図を立体表示する

《手順1》 三次元で立体表示したい地図に移動し、キーボードの[Ctrl]ボタンを押したままの状態、マウスのクリックを押しながらマウスを上方向に移動させます。

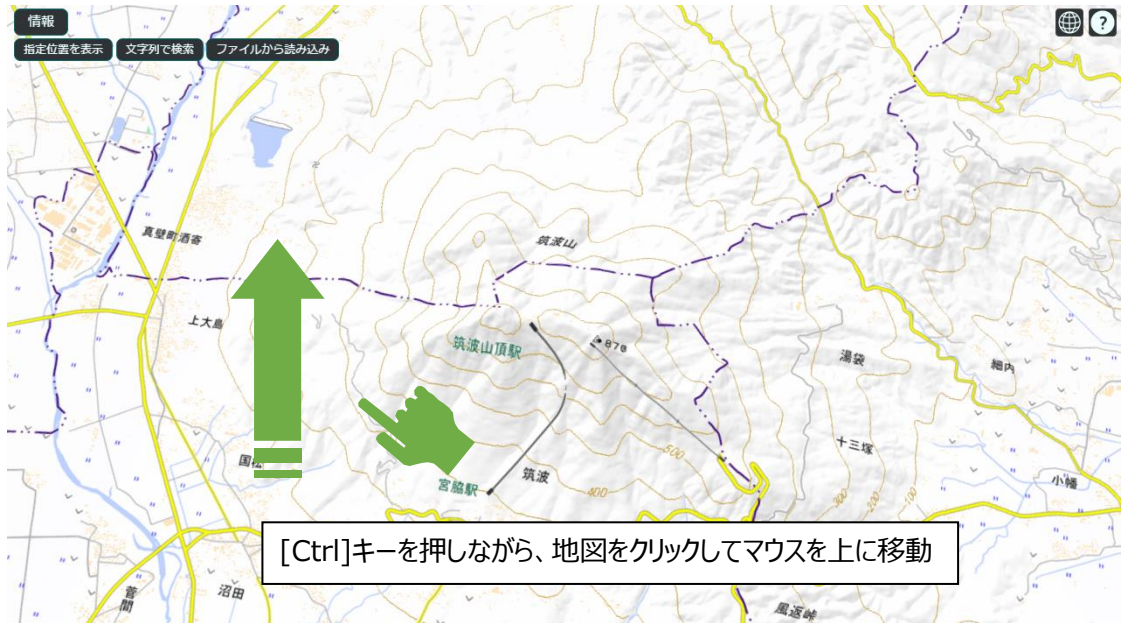


図 2-6 立体表示する前の地図

《手順2》 地図が立体表示されます。マウスの上方向への移動距離によって、地図の傾きが変わってきます。傾きを逆に戻したい場合は、マウスを下方向に移動します。

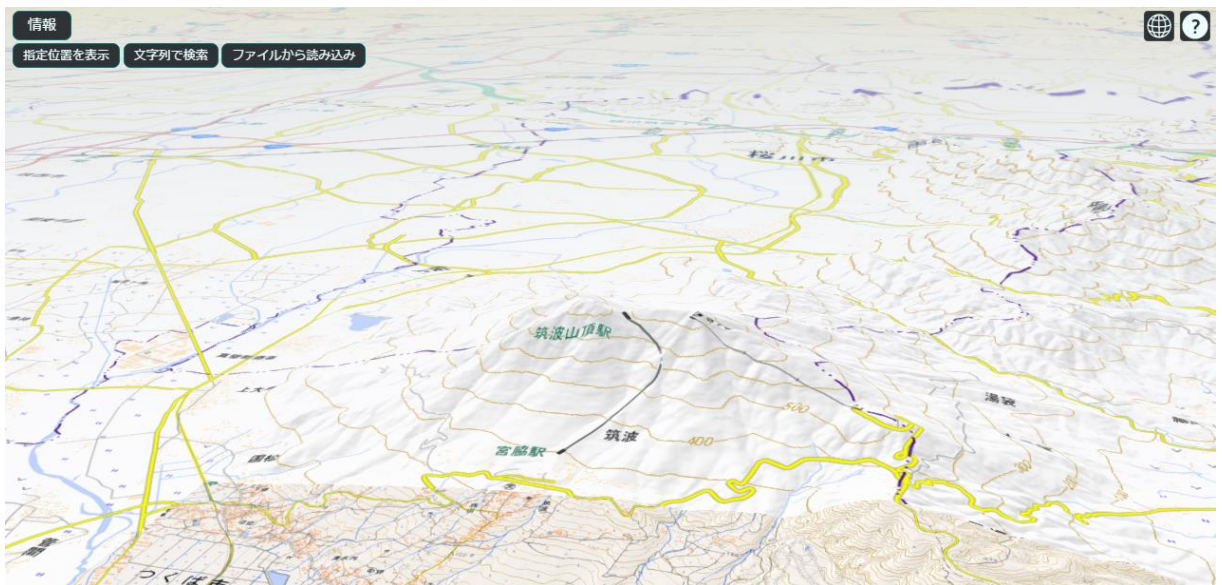


図 2-7 立体表示後の地図

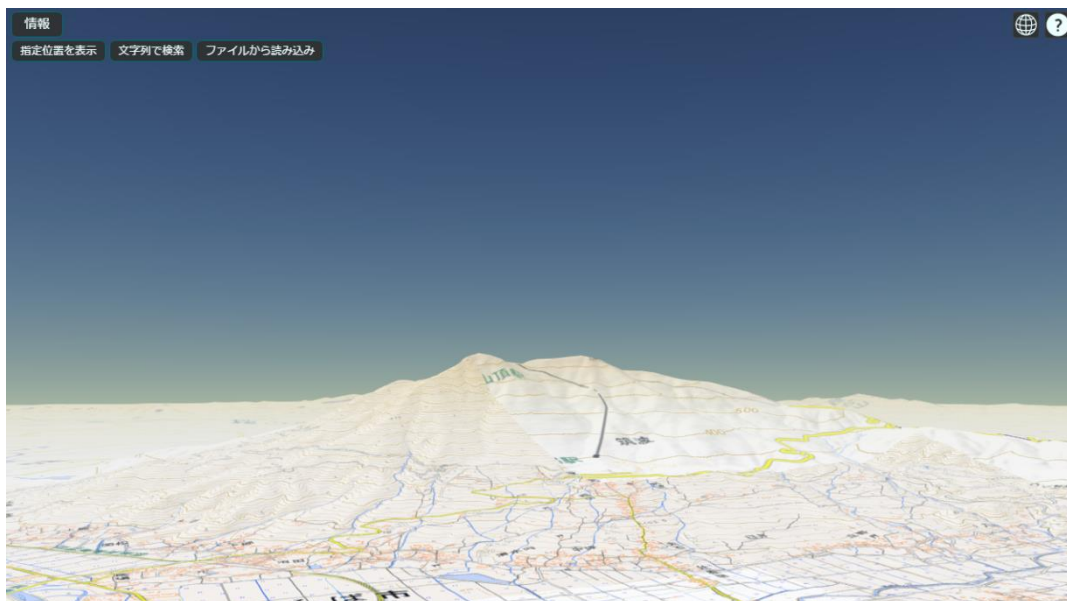


図 2-8 立体表示後の地図（傾きを強めにし地平線を表示）

※ 地平線が見えてから一定以上、マウスを上方向に移動させると画面が黒く表示されます。その場合は、マウスを下方向に移動させて元の傾きに戻すか、初期画面に戻り、初めから操作し直してください。

《手順3》 キーボードの[Ctrl]キー、マウスのクリックを離し、立体表示した状態で、マウスをスクロールさせることで、2D 地図と同様にズームイン/ズームアウトが可能です。

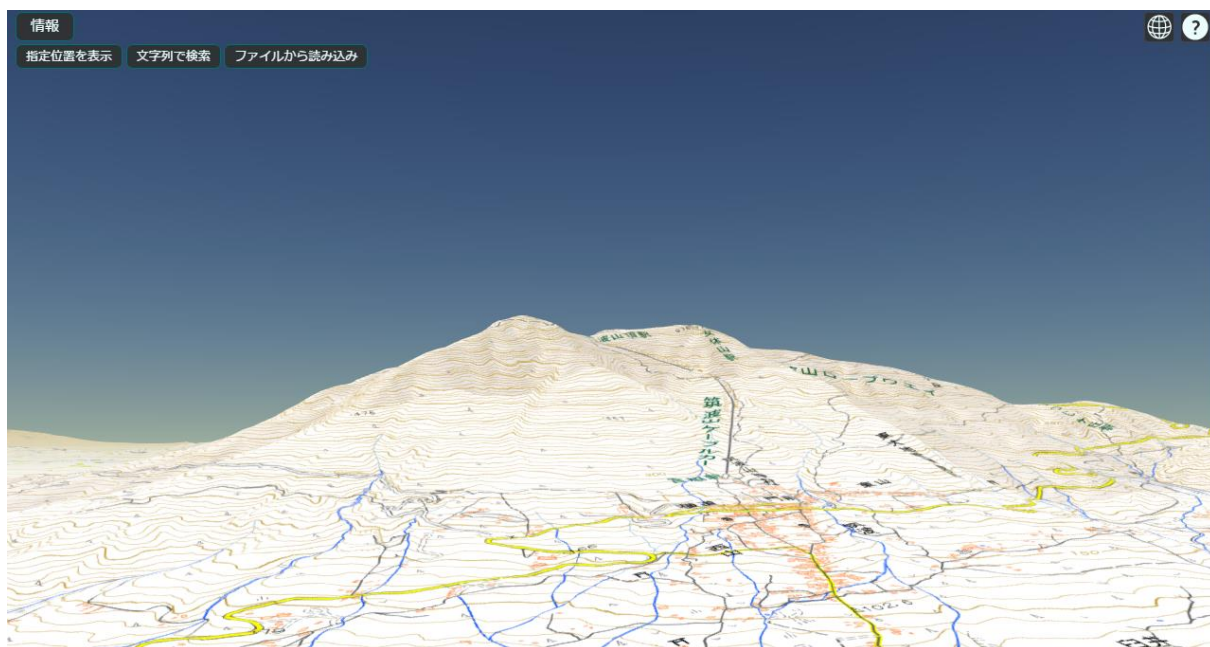


図 2-9 立体表示のままズームイン

《手順4》 立体表示した状態で、画面の左上のボタンを押し、プルダウンメニューから表示される地図を変更することも可能です。

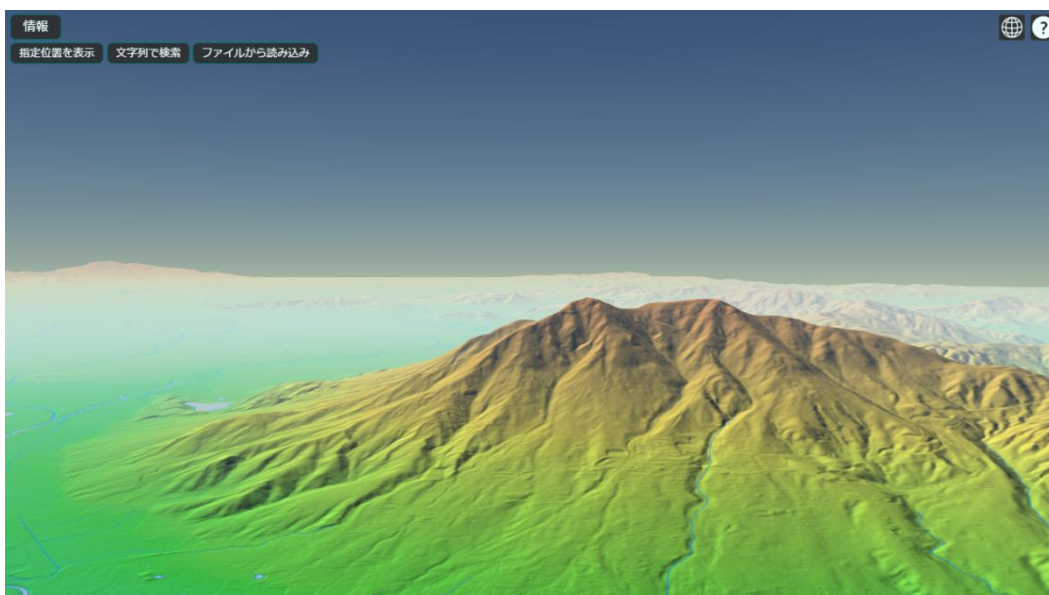


図 2-10 立体表示のまま、表示地図を変更

2.7 文字列検索を行い、該当箇所に移動する

《手順1》 画面左上の「文字列で検索」をクリックし、表示されたダイアログ画面に検索した文字列を入力し、検索ボタンを押します。



図 2-11 文字列を入力

《手順2》表示された検索結果から移動したい場所をクリックします。



図 2-12 移動したい場所の選択

《手順3》クリックした場所に地図が移動します。



図 2-13 移動後（富士山 5 合目簡易郵便局）

《手順4》 2.6と同様に、キーボードの[Ctrl]ボタンを押したままの状態、マウスのクリックを押しながらマウスを上方向に移動させることで地図を立体表示することができます。

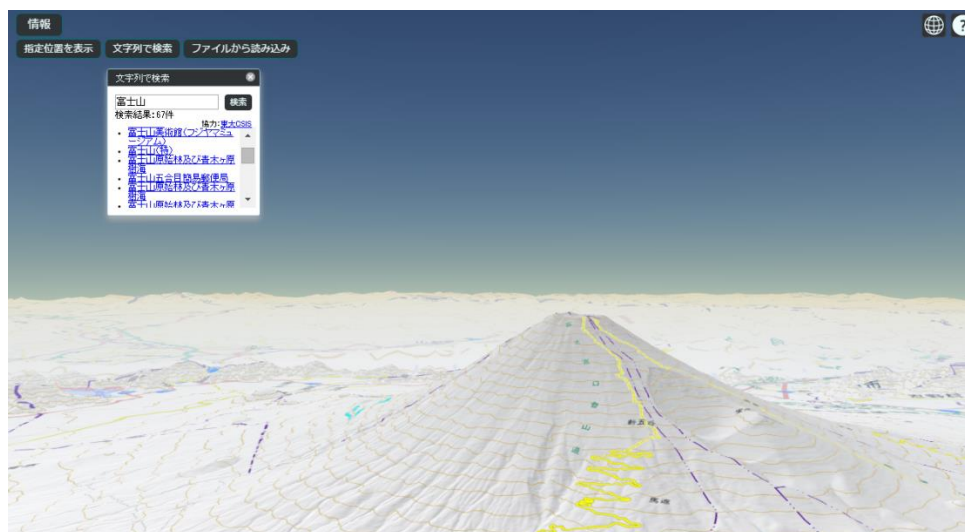


図 2-14 移動後の立体表示

2.8 立体地図を回転し、全方位で地形を確認する

参照したい地図が立体表示された状態で[Ctrl]キーを押し、クリックした状態のまま、マウスを上下左右に動かすことで、対象となる地形を様々な角度から参照することができます。

《手順1》 立体表示された状態で[Ctrl]キーを押し、クリックした状態のまま、マウスを左に動かします。

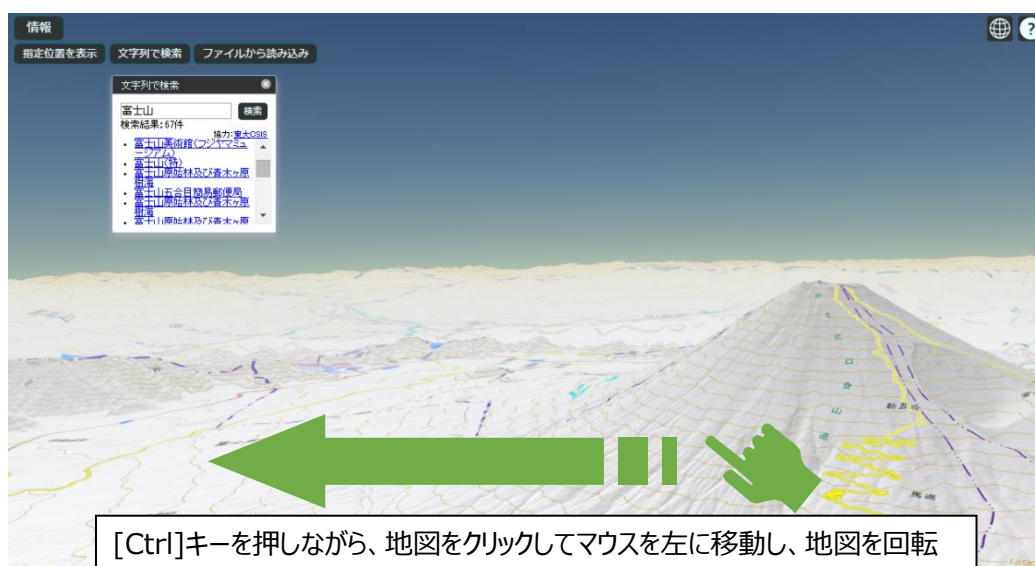


図 2-15 立体地図の回転

《手順2》地図が回転しますので、参照したい地形が見えなくなりそうなところで、[Ctrl]キー、クリックを一度離します。再度、クリックしたまま、マウスを右から左に移動し、参照したい地形を左から右に移動します。



図 2-16 立体地図の移動

《手順3》参照したい地形を画面中央に移動させ、再度、[Ctrl]キーを押し、クリックした状態のまま、マウスを左に動かします。

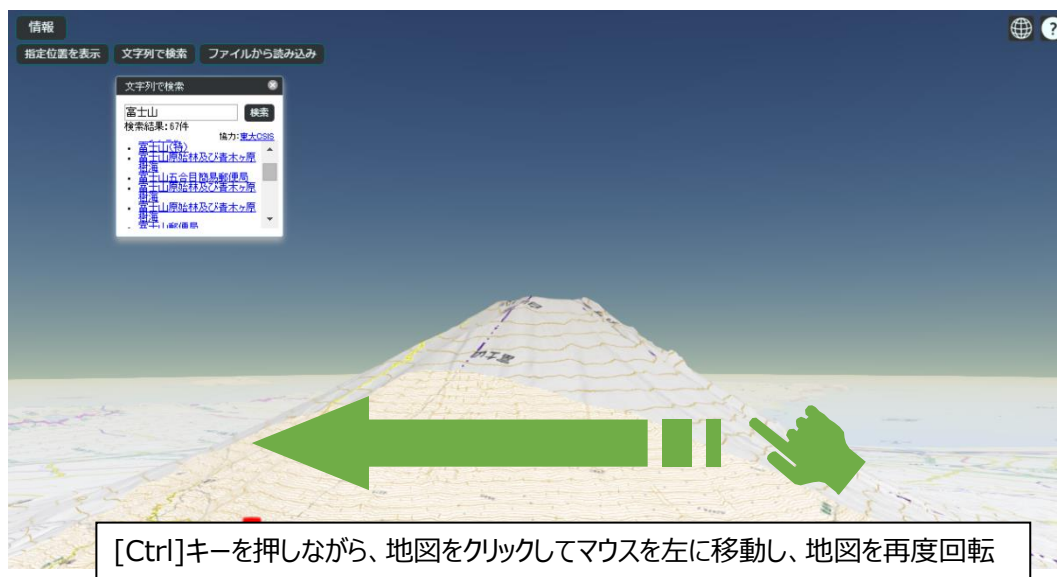


図 2-17 立体地図の回転(二回目)

《手順4》参照したい地形が見えなくなりそうなところで、[Ctrl]キー、クリックを一度離します。再度、クリックだけで地図を右から左にドラッグし、参照したい地形を右から左に移動します。

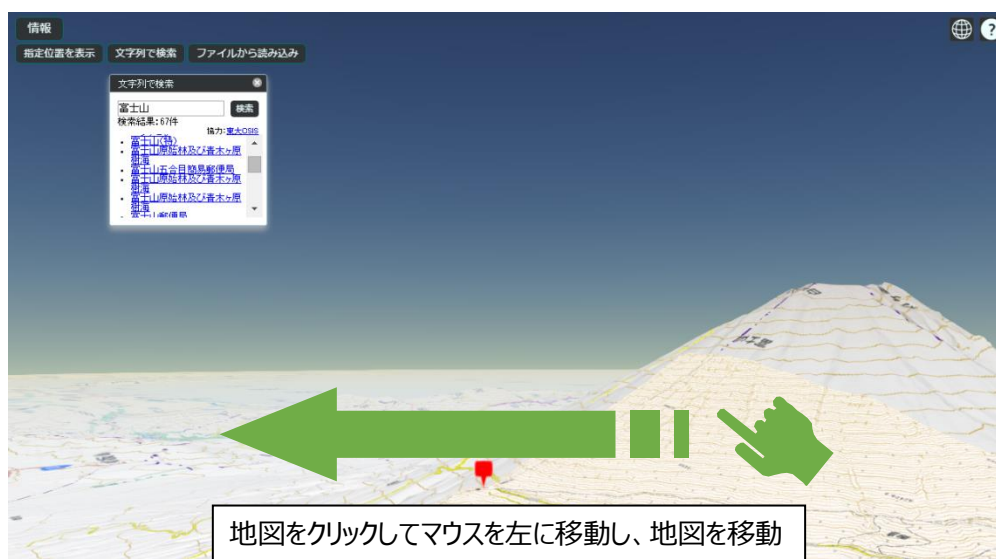


図 2-18 立体地図の移動(二回目)

《手順5》このような動作を繰り返すことで、地形を水平方向に回転して参照することができます（右回りも同様）。次に、[Ctrl]キーを押しながら、参照したい地形の上部をクリックしたまま、マウスを下に動かします。



図 2-19 立体地図の傾きの変更前

《手順6》地図の傾きが変更となり、頭上から直接参照したような地図が表示されます。次に、[Ctrl]キーを押しながら、参照したい地形の上部をクリックしたまま、マウスを上移動します。

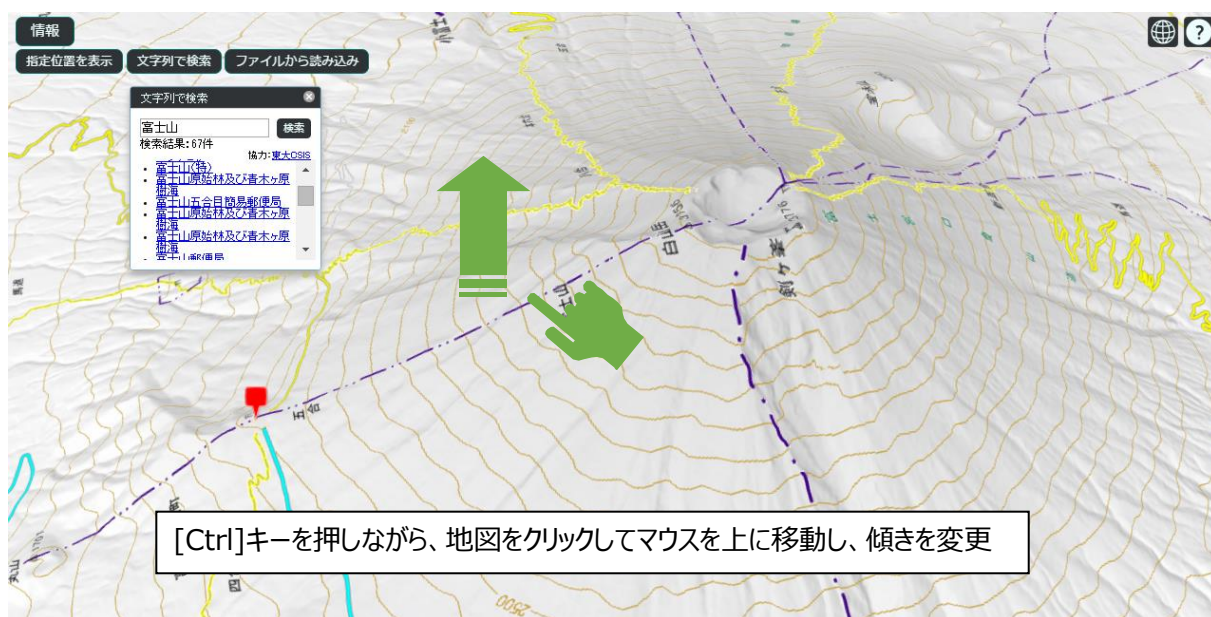


図 2-20 立体地図の傾きの変更後(上)

《手順7》地形の傾きが変更となり、下から参照したような地図が表示されます。

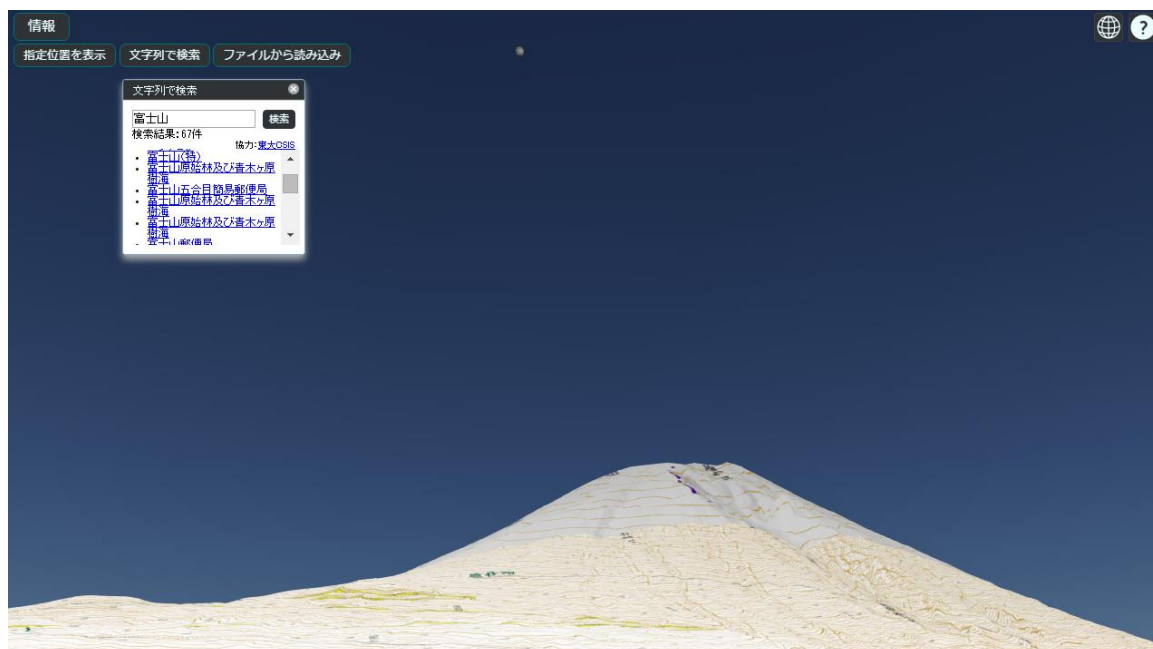


図 2-21 立体地図の傾きの変更後(下)

2.9 指定位置の情報を表示する

《手順1》画面左上の「指定位置を表示」をクリックし、さらに地図上でクリックすることで位置を指定します。



図 2-22 位置の指定

《手順2》クリックで位置を指定すると、左上のダイアログ画面に、緯度経度、「地理院地図で見る」、「地理院地図 3D で見る」、「この位置に移動する」、「地理空間情報ライブラリーで見る」の各リンクが表示されます。



図 2-23 位置指定後のリンク表示

《手順3》左上のダイアログ画面で、「地理院地図で見る」をクリックすると、指定した位置が中心に表示された地理院地図が別タブで開きます。

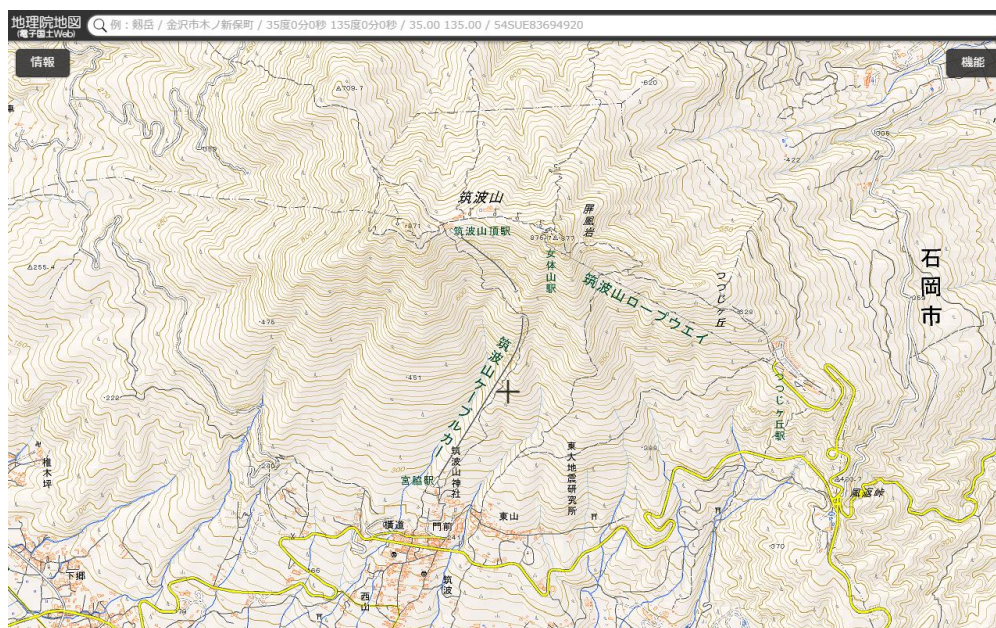


図 2-24 地理院地図との連携

《手順4》左上のダイアログ画面で、「地理院地図 3D で見る」をクリックすると、指定した位置が中心に表示された地理院地図 3D 画面が別タブで開きます。

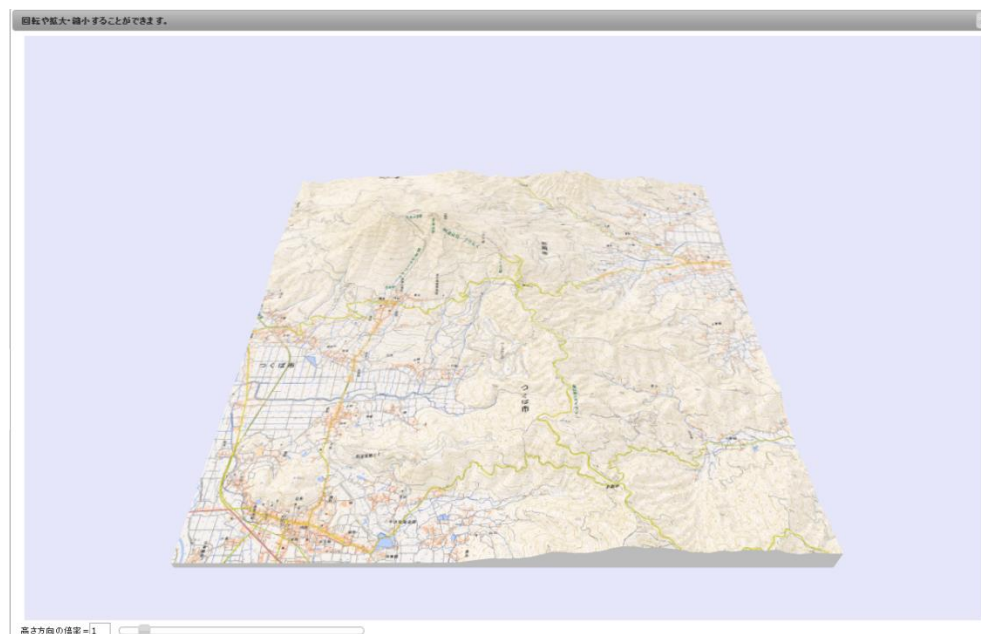


図 2-25 地理院地図 3D との連携

《手順5》左上のダイアログ画面で、「地理空間情報ライブラリーで見る」をクリックすると、指定した位置の緯度経度を検索キーとして、地理院空間情報ライブラリーサイトで検索された結果画面が別タブで開きます。



図 2-26 地理空間情報ライブラリーとの連携

《手順6》左上のダイアログ画面で、「この位置に移動する」をクリックすると、指定した位置が地図の中心に移動します。

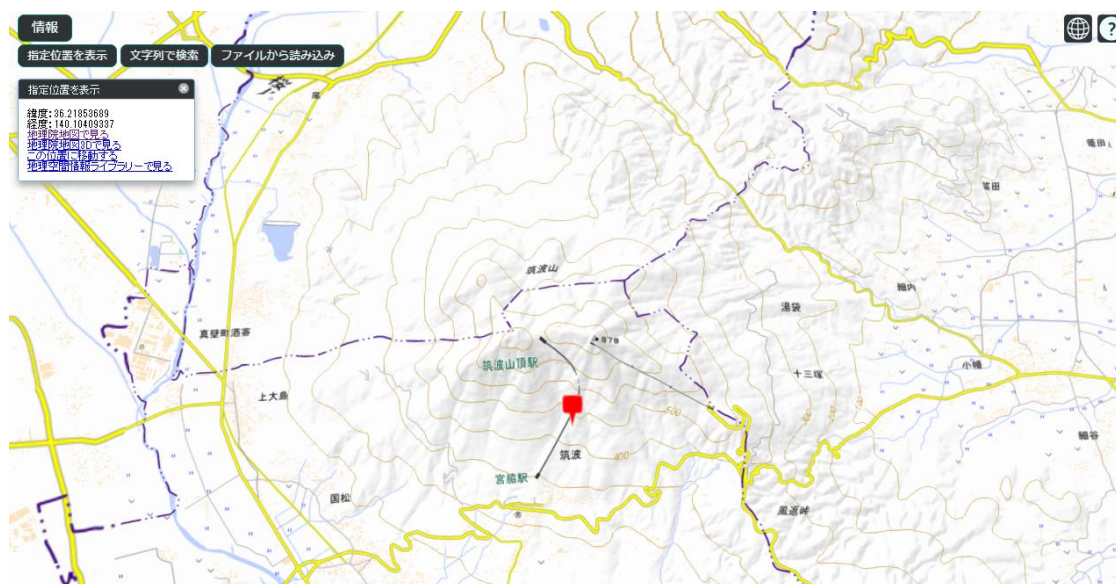


図 2-27 地図の中心への移動

2.10 GeoJSON・KML(KMP)を読み込む

《手順1》画面左上の「ファイルから読み込み」をクリックするとファイルアップロードのダイアログが表示されます。ダイアログ内の「ファイル選択」ボタンをクリックします。



図 2-28 アップロード

《手順2》読み込むファイルを選択します。読み込めるファイルは GeoJSON、KML、KMP の 3 種類です。

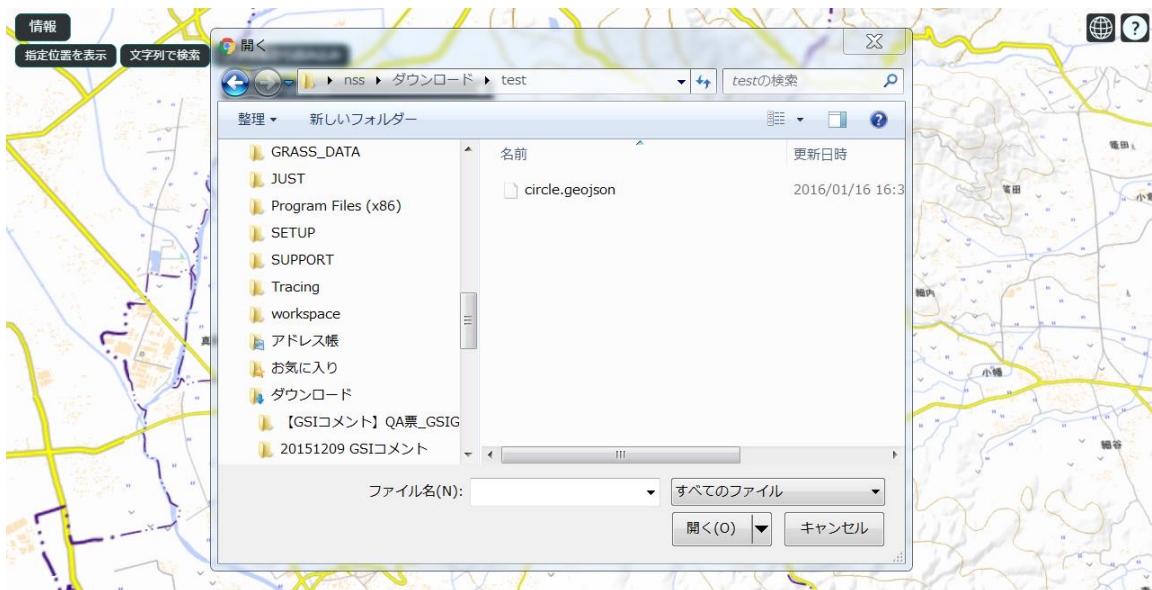


図 2-29 ファイル選択

《手順3》読み込んだ地物が地図に追加され、地物の範囲にズームされます。



図 2-30 ポリゴン追加



- ①読み込んだ地物の表示/非表示を切り替えます。
- ②読み込んだ地物を削除します。

以下のブラウザでは地形に地物がドレープして表示されます。

OS	ブラウザ（最新版）
Windows7,8	Chrome
Windows7,8	FireFox
OS X	Safari



図 2-31 ドレープ

《手順4》地図上の地物をクリックすると、地物の情報が画面上に表示されます。



図 2-32 地物クリック